

## 【SEPUP とは】

SEPUP とは、Science Education for Public Understanding Program（国民に理解できる科学教育プログラム）の略で、カルフォルニア大学バークレー校にあるローレンスホール科学館のカリキュラム開発センターで開発されたものです。SEPUP は 1980 年代に CEPUP（国民に理解できる化学教育プログラム）として始まり、化学物質と人の健康や環境汚染に関する課題を取り上げて約 2 週間のモジュール（カリキュラム）を開発しました。その後、米国国立科学財団（NSF）の中・高校生のための年間プログラムに他科学分野を含むように拡大するプロジェクトを通じ、6-10 年生のための 12 種のモジュールを開発し、1993 年に CEPUP から SEPUP に名称を変更しました。現在、SEPUP モジュールは、中・高校生のための 13 種の SEPUP モジュールと 5 年の長いコースがあります。

すべての SEPUP モジュールは、教師による指導と生徒の学習において SEPUP の探求指向や課題指向のアプローチ（指導方法）に従っているものです。探求指向アプローチにおいては、生徒は研究や調査を行い、科学について読み、そして、その社会への影響について読み、根拠について議論や討論を行い、発表をすることになります。課題指向アプローチでは、個人的、社会的課題は学習の目的を明確にし、課題に関して学習してきた内容を適応させる機会を提供するものです。このような課題は、学生の日常生活に関わる個人的なものや、健康や環境など社会問題に関係する課題などがあります。



SEPUP は、初期開発、教室テスト、改訂のサイクルを通じて生徒の学習状態を基に開発されています。最終的には SEPUP モジュールは、生徒版、教師版、研究や調査に必要な部材やウェブサイト、コンピューターシミュレーションなどをキット化したものとなっています。これらの SEPUP モジュールや部材は、米国では LAB-AIDS 社、日本では一部を(株)ナリカで販売しています。このプロジェクトは、部材の有効性の確認をしています。また、SEPUP モジュールや他コースはロサンゼルスからシカゴ、ニューヨークにかけて、米国全土の中・高校学校で使用されています。

